

## 令和5年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間・**最終** )

和庄中学校区 校番 13 学校名 和庄小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標としては妥当である。確かな学力、理科、社会科を含めた総合指標もあるとよい。</li> <li>・学力については、依然として課題が見られるので取組を継続して、力を付けて欲しい。</li> </ul>
目標達成のための方策の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練に保護者が自然体で参加できる方法を考えてみてはどうか。</li> <li>・防災訓練に地震が発生したときの訓練を入れてみてはどうか。</li> <li>・キュビナ(タブレット教材)の利用は、子供たちのやる気を引き出しているので来年度も活用して欲しい。</li> </ul>
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の教育実践の積み重ねに感謝する。</li> <li>・結果の内容から課題が明確にされており、適切に分析ができています。</li> </ul>
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な取組が提示されており、改善案は適切である。</li> <li>・参観日で災害食を作る、食べるなどの体験型の学習は、防災について保護者と一緒に考える機会ができて良いと思う。是非、実施してほしい。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島地震を受けて、地震に対する防災訓練の強化を図ってほしい。</li> <li>・学校に度々行くが、上半期に比べて子供たち(特に高学年)からの自発的な挨拶が増えてきている。</li> </ul>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期に実施している学力面と体力面を向上させるための具体的な改善策を継続して実施する必要がある。例えば、家庭で学習に取り組む目標時間を設定したり、運動の宿題を出したりするなどが考えられる。</li> <li>・防災教育について、参観日において学習内容を防災の視点を盛り込んだり、地域合同防災訓練における訓練の内容をより実践的なものにしていく。</li> </ul>
--------------------	---